

# 濾胞性リンパ腫での初回治療後のリツキシマブ維持療法は生存期間延長に寄与する

Maintenance Rituximab after First Line Treatment in Veterans with Follicular Lymphoma Is Associated with Prolonged Overall Survival

Ahamad Halwani, et al., Huntsman Cancer Institute, Salt Lake City, UT / George E. Whalen Veterans Health Administration, Salt Lake City, UT / University of Utah, Salt Lake City, UT



## Quick Review

濾胞性リンパ腫 (FL) に対する免疫化学療法後のリツキシマブ維持療法は、いくつかの研究で無増悪生存期間 (PFS) を延長するが全生存期間 (OS) の延長はみられないことが報告されているが<sup>1)</sup>、メタアナリシスではOS改善との関連が示唆されている<sup>2)</sup>。今回、米国の実臨床下において、通常の初回治療後にリツキシマブ維持療法を受けたFL患者と受けなかったFL患者のOSを比較した解析結果が報告された。

1) Salles G, et al.: Lancet 2011; 377: 42-51  
2) Vidal L, et al.: Eur J Cancer 2017; 76: 216-225

- 米国退役軍人健康庁 (VHA) の電子カルテのデータを用い、初回治療としてR-CHOP、R-CVP、R-ベンダムスチン療法またはR単剤療法を受けたGrade 1-3a、Stage II-IVのFL患者を抽出した。初回治療終了後、最初の画像検査 (CTまたはPET-CT) でPDを認めた患者、ならびに画像検査の記録がない患者のうち、その後の治療が行われておらず3ヵ月間の観察が完了していない患者は除外された。
- Cox回帰モデルを用い、初回治療で層別化し、年齢、性別、人種、診断時のStageとGrade、Hb、LDH、初回治療時の合併症 (Charlson併存疾患指数:CCI)、および初回治療終了時の奏効 (PRまたはCR) で補正したOSを、リツキシマブ維持療法あり群となし群で比較した。
- 適格基準を満たしたFL患者は905例で、リツキシマブ維持療法あり群 (320例) とリツキシマブ維持療法なし群 (585例) で、Hb $\leq$

- 12g/dLの患者割合を除き、両群の患者背景に差はなかった (表1)。
- 全例において、観察期間中央値3.9年で5年全生存率は76%であった。
- リツキシマブ維持療法あり群となし群のOSを図1に示す。
- Cox比例ハザードモデルを用いた多変量解析の結果、リツキシマブ維持療法あり群はなし群と比較してOSを延長した (HR=0.58、p=0.001)。また、年齢 $\geq$ 60歳 (HR=2.08、p<0.001)、Hb $\leq$  12g/dL (HR=1.93、p<0.001)、LDH>正常値上限 (HR=1.74、p<0.001)、CCI $\geq$ 1 (HR=1.12、p=0.002)はOS不良と、初回治療後のCR/PR (HR=0.69、p=0.012)はOS延長と関連していた。

### 結論

米国実臨床下でのFL患者コホートにおいて、初回治療後のリツキシマブ維持療法はOS改善の独立した因子であることが示唆され、臨床試験に登録された患者に比べ高齢で合併症も多い実臨床のFL患者に対するリツキシマブ維持療法の有効性が示唆された。

表1 患者背景

項目	リツキシマブ維持療法なし群 (n=585)	リツキシマブ維持療法あり群 (n=320)	p値
年齢中央値、歳	65	64	0.47
年齢 $\geq$ 60歳、%	72	74	
男性、%	95	95	0.73
人種、%			
白人	88	87	0.90
黒人	7	7	
ヒスパニック系	2	—	
その他	3	4	
CCI中央値	1	1	0.81
CCI $\geq$ 1、%	57	56	
初回治療奏効例、%	40	37	0.41
Grade、%			
1	3	36	0.09
1-2	6	6	
2	37	41	
3	18	12	
3a	8	6	
Stage、%			
II	16	18	0.69
III	44	43	
IV	41	39	
Hb $\leq$ 12g/dL、%	30	21	0.001
LDH>正常値上限、%	28	24	0.22
初回治療、%			
RCHOP	37	33	0.29
RCVP	28	26	
BR	19	24	
IR	15	17	

\*10例未満

・年齢中央値は65歳、男性が860例 (95%)、非ヒスパニック系白人が791例 (87%)、診断時のGradeは1-2が697例 (77%)、Stage III-IVが754例 (83%)であった。  
・Hb $\leq$ 12g/dLの患者の割合を除き、リツキシマブ維持療法なし群 (585例) とあり群 (320例) で患者背景は同程度であった。

図1 OS

